



国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)

2011-2012 ガバナー月信

# Governor's Monthly Letter

vol. **4**  
2011.10.1



長谷寺絵馬「熊谷直実と平 敦盛(寛文9年)」

## C O N T E N T S

- 2 ガバナーメッセージ  
「職業奉仕活動月間によせて」
- 3 米山月間によせて
- 4～8 ガバナー公式訪問だより
- 9 米山記念奨学生 選考スケジュール  
第1回ガバナー補佐会報告
- 10～13 会員増強・ロータリー財団合同セミナー
- 14・15 地区だより(8月)
- 16 出席報告(8月)



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度  
国際ロータリー会長 **カルヤン・バネルジー**

国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)  
2011-2012年度 ガバナー **伊藤 文利**

【お詫びと訂正】 月信9月号(vol.3)に下記の誤りがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。

P2 左列・下から8行目 「母(以外の…)」→「母国以外の…」

P5 左列・15行目 延原幹事→永山幹事

P13 地区資金予算 支出の部 地区大会費 28,000→2,800

P16 出席報告、出席率につき多数誤りがあり、ホームページに正しいデータを掲載しています、そちらをご覧ください。



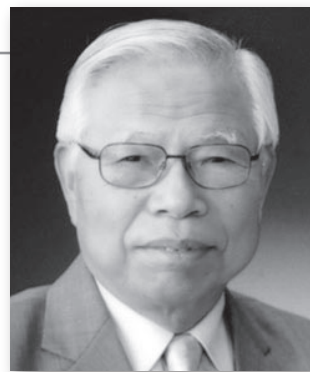
こころの中を見つめよう 情愛を広げるために

## ガバナーメッセージ

# 職業奉仕月間によせて

国際ロータリー第2690地区ガバナー

## 伊藤 文利



元RI 理事渡辺好政先生は「ロータリーの樹」という表現で、ロータリー奉仕活動を理解しやすく、次のように解説されました。「樹の根はクラブ奉仕であり、幹が文字通りロータリーの根幹である職業奉仕、枝と葉は社会奉仕、国際奉仕、新世代奉仕、やがて花はロータリー財団となり、その木から多くの実が生まれてきます」

そうです、職業奉仕こそはロータリーの根幹である「I serve」で代表されるように、我々ロータリアンにとっては、文字通り最高の金看板「奉仕の理想」そのものであります。「奉仕」の原語は英語のServiceである事は、ロータリアンなら誰でも知っています。Serviceの真の意味は、相手の事を想い、相手の為になる行為でありますので、そんな立場を維持していれば社会的信用を増し、ひいては企業の繁栄をもたらします。その結果、本人の幸福に通じる筈です。「これがロータリーの原点である」と説かれた人もあります。即ち、一般的な普通の職業は、それがどんな業種であっても、それを通して人の為、世の為になれば、それはもう素晴らしい職業奉仕であると言えます。

ロータリーを創立したのはポール・ハリス氏ですが、ロータリーの理論構築・理論提唱をしたのは後のコリンズ氏でありシェルドン氏であると言われていています。前者は「超私の奉仕」を、後者は「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」を提唱し、それらは我々が今も絶対的に信奉するロータリー・モットーそのものであります。

日本古来には前述の2つの言葉と、内容がほぼ同じ言葉が存在し、広く知られています。即ち「忘己利他」と「自利利他」であります。特に職業奉仕の意味するところは「自利利他」そのものであると確信しています。資本主義社会に住む我々は「倫理観を常に持ち、物を作り、適正な利潤を得てそれを売り、消費者を喜ばす」の形態こそ最も望むべき姿ではないでしょうか。言い換えれば



「右手にソロバン、左手に論語を持って商売をする」姿であろうかと思えます。

さて、この職業奉仕月間には各クラブに於いて、独自の行事・活動を実施される事と推察しています。4つのテスト、卓話、表彰、職場訪問など古くから見受けられる活動があります。それら自体、地域社会への広報に役立ち、会員への意識を高めるツールにもなるので今後も継続すべきだと考えています。が、この際、もう一度ロータリーの原点に振り返って頂きたいと思えます。近年、会員減少を初めとするロータリーの衰退がささやかれているこの時期、根幹である職業奉仕を再検証し、I serveを再学習する事により、ロータリーの本質に迫ってほしいと願っています。私自身も皆さんと同じく「奉仕の理想」を求めて、今後もずっと歩む覚悟であります。

## 米山月間に寄せて

米山記念奨学会 理事

森 嵩正 (津山ロータリークラブ)



(また同じころかとよ) おびたたく  
おほなみ  
 大地震ふること侍りき。そのさま世の  
 常ならず、山は崩れて河を埋み、海は  
かたぶ  
 傾きて陸地をひたせり。土裂けて水  
いはほ  
 湧き出で、巖割れて谷にまろび入る。  
 (方丈記)

現代の時代の様相が12世紀末のそれと似ている、とある作家が言ったが、このたびの東日本の大震災の情報が流れた時、上記の鴨長明の文が思い出された。作者は安元3年(1177)の大火以来、辻風・飢饉・疫病(えきい)そして元暦2年(1185)の大地震へと筆を進めてゆく。

「海は傾きて」という描写は高潮・津波のことかといわれており、海が平衡を失ったように陸地を水に漬(つ)からせたのであろう。さらに作者はいう。「恐れのかなかに恐るべかりけるはただ地震(なみ)なりけり」と。

震災に関係して、ロータリー米山記念奨学会の板橋敏雄理事長は、理事会における事業報告書の中で、「特に感銘を受けたのは震災から日を置かずに、海外の米山学友会が立ち上がり、多額の義捐金を寄せられた。各学友から家族や知人へも呼びかけて740万円に達した。」との報告をされた。そのことによって震災のことから学友の活動のことをここに取り上げたのである。ここに紹介する学友の行為は米山記念奨学会の「ロータリーの理想とする国際理解と親善に寄与することを目的とする」精神が報恩の志となって表れたものといえよう。

「昔日のご厚情にお応えしたい」(中国学友 李娜りなさん)、「福島原発をめぐる放射線との戦いに必ず勝利を」

(韓国学友 カン ヨン チョル 姜永鉄さん)の言葉もそのことを如実に物語っている。

カルヤン・バネルジーRI会長のテーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」という文言が強く胸にひびいてくる。奨学生に対するロータリアンの奉仕の精神や博愛の「こころ」はこのような形で愛と励ましの言葉となって結実している。

月間にあたって米山梅吉氏の「こころ」を偲び、奨学会制度の内容を学友の愛と励ましの言葉を通してあらためて考え、奨学会を育てる「こころ」を学びたいものである。奨学生を「知る」ことを学ぶことこそ西田哲学の「知と愛」の「こころ」であろう。2012年度も800名という人数で奨学生の募集選考が行われる。その数字を維持するためには14億5000万円が必要とされる。2010-2011年度の寄付総額は13億4000万円(前年度比1.0%減、普通寄付1.6%減、特別寄付0.7%減、約1,300万円減)で、不足分は積立金から取り崩すということであった。奨学生の人数は減らしたくないという板橋理事長の強い願いがあるので、今後とも個人寄付、そして特別寄付についてよろしくご協力のほどお願いいたします。

末文となりましたが、世話クラブそしてカウンセラーの方々のご苦勞に謝意を表します。



こころの中を見つめよう 情愛を広げるために

## ガバナー公式訪問だより

### 7/13 水 岡山備南ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・井戸垣随行幹事



長尾会長以下会員の皆様より温かい歓迎を受けました。和やかな雰囲気が出されたクラブで、皆さん和気藹々とクラブを楽しんでおられると、実感され

るクラブです。“気張らずにロータリーを楽しみましょう”が基本のクラブでした。会長の“ロータリアンらしく、楽しく頑張ろう”のスローガンは共感できる言葉です。

インターアクト活動は活発で、伊藤ガバナー事務所は深田会員から多くの助言を頂きました。教育関係に携わる会員も多く、地区のインターアクト事業の模範となるクラブです。岡山学芸館高校のインターアクト事業はこれからの地区の指針となるようです。親睦と社会奉仕が渾然とまざりあい、クラブがクラブらしく機能している、のが実感でした。

“会員相互の理解が深められることによって、クラブすべての運営が円滑に行われるように努力し、会員間だけでなく、家族間の親睦も大切に、ロータリーに対する理解を深めていく”、基本は高く志す人間の集いであること、が前提条件の気がしました。岡山備南クラブは高く志す人々のクラブでした。

### 7/14 木 岡山東ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・井戸垣随行幹事



仁科会長以下会員の皆様に温かく迎えていただきました。気品あり風格の漂うクラブで、創立44年のクラブは重厚です。本年の活動指針“原点回帰”「見つめ

直そうロータリーの心・示そう連帯の力」はこれからの再躍進に向けての決意がみなぎっており、会員の30代4名、40代12名、50代18名はこれからの発展をうかがわせます。女性会員ゼロ、あえて言えば貴重な存在、規律ある男性のみの集団も美しいです。岡山東RC幹事の“運営上の申し合

わせ事項ならびにお願い”は、他クラブの見習うべき秀逸なもので、フレッシュ会員制度と共に今後地区内で参考にさせていただければと思います。三年以内の新入会員は毎月一回懇親会を開催し、親睦と奉仕の心を育成されている由うらやましい限りです。(木輪会)

活動報告書にクラブの基礎を作られた物故会員の記載に感銘を受けました。青少年育成事業基金三千万円の積立、国際奉仕活動人道支援への意欲、親睦と奉仕の織り成すクラブに感銘を受けて辞去させていただきました。頑固ものクラブ(?)の今後の発展を祈念します。

### 7/15 金 倉敷南ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・井戸垣随行幹事



佐藤PGの丁寧なお出迎えに感動しました。水島工業地帯に位置する高台の例会場ヘルスピア倉敷は美しい建物でした。水島工業地帯の企業群の会員

と、地域の会員との調和の取れた特異なクラブです。2010年11月には50周年をむかえ盛大な式典を挙行されました。1975年よりOB会員との懇親会を東京、倉敷で交互に開催、旧交を温めておられるとのこと、ロータリーの親睦精神の発露に感動しました。現在会員数67名、平均年齢59歳の若々しいクラブですが、現在でも歩いて倉敷カントリーをスルーでワンハーフ回られる白髪会員(87歳)、佐藤PGのクラブ指導力に感銘しました。中村会長の文化に対する造詣の深さ、ローターアクト活動に情熱をお持ちの笠岡副会長、水島工業地帯の企業群と地域社会が立派に溶け込んでいる姿に感動しました。小田幹事さんは倉吉の誇る大山乳業と密接な関係をお持ちとのこと、改めて親近感を持ちました。

例会終了後、ご多忙のなか水島工業地帯の見学をお願いしたところ、臨海工業地帯を一望できる中国電力水島火力発電所を案内していただきました。素晴らしい日本の重工業地帯の展望に日本の未来を確信し、感動して思わず目頭が熱くなりました。有難う御座いました。

## ガバナー公式訪問だより

**7/15 金**

### 津山ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・井戸垣随行幹事



森PGの温かいお出迎えをうけ感動しました。協ガバナー補佐の在籍されるクラブでもあり、倉吉から人形峠を越せば津山、なんとなく親しみを持てるクラブです。

1956年8月創立の伝統と格式のあるクラブですが、会員の平均年齢は59歳で、若い方々が運営されているのが肌で感じられます。山本会長の本年度の運営方針は“寛容と自覚”がテーマです。2690地区第8グループの中心的な存在でもあり、グループをリードしてこられた様子が伺えます。青少年活動にも積極的にすすめてこられております。特に津山高専のロボット研究には支援をされてこられた様子が伺えます。高専にも外国人子弟が留学する時代になりました。米山記念奨学会の推薦指定校に津山高専を伊藤ガバナー年度でさせていただきました。米山記念奨学金の意味を十分に認識した学生が応募され、アジアの学生が津山で勉学し、国際交流を進めていくことになれば、ロータリーの奉仕活動がまた一歩前進するのでは、と考えながら辞去しました。

**7/19 火**

### 岡山城ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・村木随行幹事



1989年12月5日、岡山西RCがスポンサークラブとなり創立、本年で23年目のクラブです。創立時40名の会員が、28名と会員数の減少は否めない

が、近年はCLPを導入され、その中核として「奉仕プロジェクト委員会」を設立され、奉仕の中心にすえられて、活発に活動されておられます。又、お城名4クラブ（大阪城、岡山城、岐阜城、松本城RC）と姉妹クラブ締結され、交流しておられます。海外交流においても、台北市華岡RCとの交流を1993年より活発に活動され、本年度、難波 稔会長は、「和をもって輪となる」をスローガンとして、意欲的に会を運営されています。28名と少ない会員のクラブとしては、ユニー

クで、意欲的なクラブでした。

**7/19 火**

### 岡山岡南ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・村木随行幹事



1994年3月22日、岡山西南RCがスポンサークラブとなり創立されたクラブで、現在会員数は30名です。会員の平均年齢が、52才と若い方々の意欲あ

ふれるクラブです。今年度は、井上 元ガバナー補佐を輩出され、2名の地区委員を引き受けていただいています。

秀岡康則会長は、2年後の20周年を目ざして、40名に増強するとの目標を持たれ、意欲的に活動されています。インター・シティー・ミーティングも本年度は担当で、若い方々の意欲があふれているクラブでした。幹事は、中前貴子さんと女性の方であり、美しく、やわらかいほほえみが、さぞかしクラブ内を和らげていることと推察いたしました。

**7/20 水**

### 岡山ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・村木随行幹事



1934年3月3日、スポンサークラブ京都RCによって創立され、第2690地区の多くのクラブの創立に関与されておられ、地区の重鎮クラブとして、その伝統

と倫理が随所に垣間見えました。特に、職業倫理という観点で、会員皆さんが、鍛えられた見識をお持ちだと感じました。会員総数105名を擁し、30代から90歳代の方々まで幅広い年齢層で構成されたクラブです。ユニークな「高齢者委員会」をもっておられ、青春とは、「生きていく考え方」「心の持ち方」が大事であるとの考え方で、「高齢者ライフ」を真剣に考えておられます。岡崎 邦泰会長は、本年度、「親睦を深め、ロータリーを楽しもう」のスローガンのもとに、この大世帯を切り盛りしていくご決意です。本当の紳士の鑑（かがみ）の様なクラブの方々でした。



こころの中を見つめよう 情愛を広げるために

## ガバナー公式訪問だより

### 7/20 水 岡山旭川ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・村木随行幹事



1991年岡山中央RCがスポンサーとなって創立されました。チャーターメンバー 55名で発足しましたが、現在は、25名の会員で運営されておられます。本年度

の木口 浩一会長はチャーターメンバーであり、クラブの更なる発展と充実をのぞんでおられます。その一つが、20周年の記念広告に、次の一文が掲げられています。「わたしたち25人のロータリー・エンブレムは一輪の花ぐらい小さいかもしれませんが、誰かの笑顔を支える事ができるから。私たちの活動はこれからずっと…」この言葉が、岡山旭川RCを貫いて、会員の皆様の心をつなげておられると実感しました。会長方針には、「育自」（自分自身を育てよう）と書き、自ら努力されています。

例会後2次会にお誘いを受けて参加させて頂きました、宴の中にも一つの筋を通すものを感じました。ありがとうございました。

### 7/21 木 総社ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・豊田随行幹事



今年40年を迎えるクラブであり、2007～8年には森下ガバナーを輩出され、吉備の里の大地にしっかりと根付いた歴史ある格調高いクラブだと拝察しました。

時間よりも早く会場を訪問しましたが、三宅会長・西川幹事・加藤副会長とも忙しい中にも快く懇談会に応じていただきました。

会長方針は、親睦はロータリー活動の根幹であると「心のかよう楽しい例会、親睦、出席したい例会」、そして40周年を迎える今年は必ず会員数を合わせて40名にしたい、CLPを含め長期計画をしっかりと検討される計画です。

時間のゆとりもあり、ガバナーと事業内容についても詳細に

協議出来ました。

例会は一階会議室の明るいうつたりとした会場で、また平均年齢66.4歳といいながら6名の女性会員が居られると華やかさもあり、和やかな例会がすすめられました。

### 7/21 木 新見ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・豊田随行幹事



新見庄に来年40年となる新見RCは信長会長、西村幹事、小林副会長の出迎えを受けました。新見土下座まつりをあしらったバナー、手作りの週報には

表紙に【たまがきの書状】を挿絵とし、歴史あるそして情緒ある様子が伺え、16名の少人数ながらアットホームなクラブでありました。長いクラブの歴史の中でも、阿新RCと言われていた頃から会員数の問題にはご苦労があった様です。

当日も会長みずから新入会員の獲得に当っておられました。しかし、財政的にも大変な中でも国際奉仕活動も積極的であり、米国ニューパルツRCとの相互交流、カンボジア圓山小学校の支援、GSEにも回数を重ねられRYEは5回ものアウトバウンド、インバウンドの実績があります。そして地元においてもRC杯ソフトボール大会・ロータリー憩いの庭の手入れ等積極的な活動が伺えます。報道関係との座談会で地元でロータリーのPRをしていただけたら、会員の増加にもなることを大いに期待したいものです。

### 7/22 金 笠岡東ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・山本随行幹事



移動の都合で早めの会場到着となりましたが、温かく出迎えていただきました。

創立25周年をお迎えるクラブですが、東日本大震災等に配慮され、記念行事の一部を中止されるとのことでした。しか

## ガバナー公式訪問だより

し、単に行事を縮小するのではなく例年以上に例会を充実させるとの抱負を持っておられました。新世代活動奉仕として、地元施設との交流と支援。社会奉仕として、高齢化社会に向けての取り組み、カプトガニ生息地の海岸清掃、保護啓発活動への協力、植樹。国際奉仕として、マレーシアの姉妹クラブとは足掛け23年にわたり青少年相互交流を続けておられます。クラブ奉仕では、会員に対する細やかな配慮、会員増強にも積極的、どの面においても志の高さを感じました。また、親睦旅行の行き先を倉吉での地区大会にさせていただき、心より感謝します。

7/22 金

### 岡山中央ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・山本随行幹事



創立25周年を迎える年「友情と実践」をテーマに掲げられました。会員同士の友愛を深めること、ロータリアンとして実践すべきことに熱く心を砕いてお

られる会長、幹事他役員方の言葉が深く印象に残りました。RI会長、地区ガバナーの方針を会長が大変よく理解され、クラブ運営方針に反映されています。CLPへの組織面での完全移行の取り組み、「長期計画委員会」を立ち上げられ、成果への歩みを確実なものとする強い意気込みを感じました。クラブの伝統行事として「高齢者セミナー」を開催され、広く一般の方々へ情報提供されてクラブのピーアールの場としても活かされています。RCC（ロータリー地域社会共同隊）の取り組み、オーストラリアの姉妹クラブ、台湾のクラブとも熱心に交流されています。ロータリーの理想を一步一步確実に実践されているクラブであると感じました。

7/25 月

### 倉敷東ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・沖 随行幹事

創立21年の倉敷東RCは、今回の東日本大震災の支援に対して素晴らしい活動をされている話を聞き只々感服しました。



第2690地区は、パイロット地区であり、直接マッチング・グラントができないなか、東北地方にある友好クラブの協力を得て、一つは、長年交流をしてい

る現在イタリア在住の留学生がトリガーとなり、イタリアからの義援金20万ドルのマッチング・グラントに取り組みマイクロバス等が、一方従来から交流のある台湾の雙和RCとのマッチング・グラントで被災地の要請に基づき、7月12日には南三陸町社会福祉協議会に自動車を贈呈されました。現在ロータリーマークを付けた車3台が被災地を走り回っています。これら取り組まれた対応のスピード感は素晴らしく、会長のリーダーシップとそのチームワークに只々感服しました。又、クラブの体制もCLPをうまく取り入れられ、更には会長エレクトと会長ノミニーのそれぞれが掌握する業務を明確化する等、見習うべき点の多い、たいへん素晴らしいクラブだと感心しました。

7/25 月

### 倉敷中央ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・沖 随行幹事



倉敷中央RCは、我地区では最も歴史の浅いクラブです。会員数は19名、平均年齢も55.5歳と他の平均的なクラブより10歳は若くエネルギーでパ

ワーに満ちたクラブでした。例会も第2690地区では唯一の夜間例会を実施されるなど、クラブ運営も色々工夫され、CLPをいち早く導入される等、「変革」にも柔軟に対応されています。特に今年度は第7グループのガバナー補佐を輩出され、また来年3月にはIMのホストクラブを担う等、会長以下一丸となって、「明るく楽しい親しみやすい例会」をめざして着々とIMの準備等に取り組まれていました。また、長年社会奉仕活動として実施されてきた「こどもあいカード」の取り組みは、今年も継続されており、バランスのとれた、フレッシュでこれからが期待できるクラブだと感じながらガバナー公式訪問を終えました。



こころの中を見つめよう 情愛を広げるために

## ガバナー公式訪問だより

### 7/25月 児島東ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・沖 随行幹事



児島東RCは創立38年を迎える会員数24名のクラブです。例会場の鷺羽ハイランドホテルは瀬戸大橋をはじめ瀬戸内海、遠くには四国を望める素晴らしい

景色が一望できるすばらしい景観の地にありました。お聞きすると、ほとんどの会員が会長経験者であるとか。それだけ長年ロータリー活動を継続されておられる証拠であり、出席率も高く、会長さんのお人柄もあって、クラブ運営は基本に忠実で、とてもアットホームな素晴らしいクラブだと感心しました。

特に新世代活動では小学生、中学生、高校生を対象とした約140名が参加する「ソフトテニス大会」を、毎年12月に実施されています。青少年の健全育成を推進するとともに、ロータリアンも子供たちと接することで、逆に彼らからエネルギーをもらいつつ、ますますクラブ運営が活性化しているように感じました。「継続は力なり」。今後とも末永く継続されることを期待しつつ公式訪問を終えました。

の問題まで、幅広く約100名の方に参加していただき開催されていました。また、次年度はガバナー補佐を輩出される等、これからの期待できるクラブであると強く感じつつ公式訪問を終えました。

### 7/26火 岡山北ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・馬野随行幹事



創立43年目を迎えた岡山北RCは平均年齢61歳、50歳代が全体の約3分の1を占めるバランスのとれた会員構成のクラブです。

青木会長はスローガン「すすんで参加し、楽しもう」を掲げられ、親睦と職業奉仕に力を入れることでクラブ活性化を図られています。

10月には3年計画の中間年として「見直そう! 鎮守の森事業」の植樹を予定され、子どもと共に遊ぶ会員全員参加の事業として計画されています。

平成元年から続く独自の奨学金制度も継続、また車椅子バスケットボール大会の支援など、人道的な奉仕活動も実践されています。伝統あるクラブにあって新しい年代への継承にも力点を置く気風が感じられました。

### 7/26火 倉敷瀬戸内ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・沖 随行幹事



倉敷瀬戸内RCは、スポンサークラブが岡山備南RCで、5年前に「岡山瀬戸内RC」から現在のクラブ名に名称変更されました。会員数は38名で、今年25

周年を迎えるクラブです。平均年齢が55.6歳と他クラブと比べると10歳は若く、例会もそのエネルギッシュさを感じることが出来ました。クラブ運営もCLPへ移行する等、改革にも積極的に取り組まれる反面、一方では創立以来続けておられる「市民健康講座」という素晴らしい取り組みは今も継続されています。その「市民健康講座」は倉敷中央病院別館のホールで、高齢者の医療問題からメンタルヘルス

### 7/27水 倉敷水島ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・馬野随行幹事



1990年(平成2年)、倉敷南RCをスポンサークラブとして創立したクラブです。地域に根付いたロータリアンが多いので定着率、ホーム出席率も良く、

例会も「感謝の黙とう」を冒頭に行う高潔さと共に、温かい雰囲気を持つ運営が行われていました。

近藤会長はクラブ方針として ①「家族」をテーマに行事を実施する ②原点に帰り、四つのテストを実施する ③会員増強・退会防止に努める を挙げられています。年4回のクラブ会員及び家族の皆様が親睦と友好を深める



## ガバナー公式訪問だより

行事を計画されるなどクラブ運営の根幹に参加しやすさ、  
絆の強さがあるようです。

社会奉仕・新世代奉仕活動支援も多彩で、偉業を成しと

げた探査機「はやぶさ」をテーマにした科学教室の開催を  
予定されるなど、ロータリーの好ましい公共イメージを伝える  
配慮がうかがえました。

## 米山記念奨学生 選考スケジュール (第2690 地区)

**2011年10月15日**

各大学等から被推薦者申込締切

**2011年11月～12月 米山記念奨学生 小論文採点**

選考委員で採点

**2012年1月9日 (月・祝) 米子ビッグシップ**

米山記念奨学生選考会

(ガバナー、代表幹事、庶務幹事、事務局他、次年度ガバナー他)

**2012年2月11日 (土) 倉吉シティホテル**

米山記念奨学会学友会・歓送会

(ガバナー、代表幹事、庶務幹事、事務局他、次年度ガバナー他)

**2012年5月6日 (日) 倉吉シティホテル**

新規米山奨学生オリエンテーション

(ガバナー、代表幹事、庶務幹事、事務局他、次年度ガバナー他)

## 第1回 ガバナー補佐会報告

- 1) RI会長代理について
- 2) 地区大会について
- 3) 指導者育成セミナー(案)について
- 4) 地区大会各種委員名簿について
- 5) 2012-13年度ガバナー補佐の推薦結果状況について
- 6) 職業研修チーム(VTT)について<経過報告>
- 7) IMについて
- 8) 東日本大震災復興基金について
- 9) ロータリーカードについて
- 10) 2011-2012年度地区委員会組織図について
- 11) 2012-2013年度奨学生募集(案)について
- 12) ガバナー月信と地区ホームページについて
- 13) 今後の行事予定について
- 14) クラブ・ビルダー賞の候補について
- 15) ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)について
- 16) 危機管理委員会について

日時：2011年9月4日(日) 15:00～16:30  
場所：倉吉未来中心 セミナールーム5



こころの中を見つめよう 情愛を広げるために

# 特集 会員増強・ロータリー財団合同セミナー

## 開催にあたっての挨拶（要旨）

国際ロータリー第2690地区 2011-2012年度ガバナー

### 伊藤 文利

今日の会員増強・ロータリー財団合同セミナー開催にあたり、国際ロータリー研修リーダーである中村先生には、第2690地区のために遠く埼玉県から、昨日の鳥取県、岡山県を直撃した台風12号の影響でたいへんな思いをされて、ここまでお越しいただきました。また地区内でも、隠岐西郷から台風を考慮しつつ、たいへんご苦勞をされて出席していただいております。

今回、公式訪問をさせていただいて、各クラブが地域に根付いた取り組みの状況をお聞きし、心強く感じるとともに、今年度最重点目標として掲げた「会員増強」には、どのクラブもたいへん積極的に取り組んでいただいております。

ここ数年減少傾向にある会員数も、今年こそは持ち直せると確信しています。

一方、ロータリー財団の寄付目標額は、今年度当初3,280万円です。我々が今、使うことのできる基金は、3年前にいただいた総額約5,000万円です。これらは米ドル換算されるため、今の円高を考慮すると、今年度当初は140米ドル/人の目標でありましたが、200米ドル/人ぐらいいないと、5,000万円に達しない状況にあります。みなさんのご理解とご協力をお願いします。

これからの数時間が、皆様にとって実りあるセミナーとなることを祈って挨拶とします。



## 会員増強・ロータリー財団合同セミナープログラム

日時：2011年9月4日（日）11:00～  
場所：倉吉未来中心

### <本会議> .....会場：大ホール

開会点鐘	ガバナー	伊藤 文利
開会の言葉	地区代表幹事	井戸垣 徹男
ロータリーソング「奉仕の理想」	ソングリーダー	明島 淳吾
ガバナー挨拶	ガバナー	伊藤 文利
体験発表「倉敷中央ロータリークラブについて」	第7Gガバナー補佐	道明 道弘
講評	元RI理事	渡辺 好政

### <会員増強セミナー> .....会場：セミナールーム3

開会挨拶	地区拡大・会員増強委員長	森田 昭一郎
講演「善き仲間と共に」	国際ロータリー研修リーダー	中村 靖治
閉会挨拶	地区副代表幹事	日野 節太郎

### <ロータリー財団セミナー> .....会場：大ホール

開会挨拶	ガバナー	伊藤 文利
講演「ロータリー財団の未来の夢計画とクラブの役割」	地区ロータリー財団委員長	鳥居 滋
「2010-11年度新地区補助金 実施結果」	新地区補助金 直前委員長	三村 元博
「2011-12年度新地区補助金 申請結果/プロジェクト実施と報告書作成」	新地区補助金 委員長	小林 健治
「2012-13年度新地区補助金 スケジュール」	新地区補助金 次期委員長	中村 公彦
閉会挨拶	地区副代表幹事	村木 晴一

## 特集 会員増強・ロータリー財団合同セミナー

# 体験発表「倉敷中央ロータリークラブについて」

第7グループ ガバナー補佐  
道明道弘



本会議では、第7グループの道明道弘ガバナー補佐による「倉敷中央ロータリークラブについて」と題した体験発表がありました。

現在、世界のロータリーの会員数は、中国、インドの会員数が増加しているものの、日本の会員数は年々減少している。その減少傾向の真最中である平成15年5月11日に、内外に反対も多数あるなか、倉敷南ロータリークラブのスポンサーで「倉敷中央ロータリークラブ」が誕生した。その際には、倉敷南ロータリークラブに全くの“おんぶにだっこ”状態で、特に故武田鉄也パスト・ガバナーの熱い思いもあり、何とか27名で誕生した。故武田鉄也パスト・ガバナーからは、「規模は小さくても“山椒は小粒でピリリと辛い”そんなクラブになれ」との激励を受け、亡くなられるまで心配していただいた。その後は会員数が減少するとか、メンバーの仲違い等、いろいろなことがあったけれど、何とか現在に至っている。

規模が小さいとクラブ運営もたいへんで、効率的な運営を目指すべく、クラブ運営を実態に合うよう随時見直して改定してきた。即ち「クラブの自治権の行使」である。その一つとして、“どのような委員会にするかはあくまでクラブの自由”との考え方に立ち、従来からCLPも導入してきた。

また例会でも、「例会出席によって得られるメリットは、事業上の貴重な時間を割くデメリットより大きくなければならない」との考えのもと、内容の充実もさることながら、第2690地区では唯一、例会を夜間に行っている。世界的には例会を19時以降に開催しているクラブは39%もあり、また、土休日に例会を開催しているクラブは4%もある。出席率が低迷するクラブは、もっと例会の開催時間を柔軟に考えてみても

よいのではないかと思う。

また女性会員の比率は、世界的には15%もあるが、日本は一番少なく4%しかいない。わがクラブも例外でもなく、今後は女性会員の勧誘にも力を入れたい。但し、女性会員に対しては一人ではなく“連れもって”入っていただいた方がやり易いと思う。

一方、私なりに、現在社会の風潮（会社や個人の考え方）を見たとき、「今だけ」「自分だけ」「お金だけ」が目立つように思える。かつて小泉首相が「米百俵の精神」という言葉があったが、「目先のことにとらわれず明日のために行動する」ことが必要で、ビッグ・カンパニーを目指すのではなく、グレート・カンパニーを目指す会社であってほしい。ロータリーにはハーバート・テラー氏の提唱した『4つのテスト』がある。日本には近江商人の心得として『三方よし（売り手よし 買い手よし 世間よし）』という言葉もある。一例としてシャボン玉石けんという会社は、高度成長期に業績好調の日々が続いていたが、社長自らが無添加石けんを自宅で使用して、長年の湿疹が治ったことを契機に「身体に悪いとわかった商品を守るわけにはいかない」と一大決心をした。製品を無添加石鹸に切り替えると、売上げは1%にまで落ち、17年間の赤字経営が続いたが、「環境」が社会的に取り上げられると、無添加石鹸が着目されて、今は「健康な身体ときれいな水を守るシャボン玉石けん」として立派に再建されている。等の話をされました。

そのあと、元RI理事の渡辺好政氏より講評があり「道明道弘ガバナー補佐には、ロータリーの神髄を語ってもらった」との絶賛の言葉に続いて、「ロータリーのよいところ」を見直してもらいたい。また、2013年の田中作次RI会長の時には、ポルトガルのリスボンで国際大会が開催される。

「国際大会に参加した人は退会しない」言われている。2012年5月のタイ国バンコクでの国際大会と併せ、皆さんでリスボンの大会に参加しましょう。と話を締めくくられました。





こころの中を見つめよう 情愛を広げるために

特集

会員増強・ロータリー財団合同セミナー

## 会員増強セミナー「善き仲間と共に」

国際ロータリー研修リーダー

中村 靖治

会員増強セミナーは、はじめに森田昭一郎ガバナー・エレクトから、「ロータリーの組織を維持するためには『数は力なり』で数は必要で、トップがやる気になれば数字は必ず達成できる。2690地区は是非とも3,000人を死守していただきたい」との挨拶があり、続いて、「善き仲間と共に」と題してRI研修リーダーの中村靖治先生のセミナーがはじまりました。

### 《中村 靖治 講師》

台風12号の影響で、私も一昨日、羽田からの飛行機が欠航となり、昨日新幹線で来たが、隠岐西郷RCの方は、今日のたった2時間半のために、一昨日から3泊4日で参加して下さっている。今日は、是非とも有益なセミナーにしたい。

会員増強をする目的は、5大奉仕を実践するためには、若い新しい血をどんどん入れて、ロータリーを強い力にする必要がある。

ロータリーには「超私の奉仕」という言葉があるが、人間は誰も自分が一番かわいいもの。しかし絶対に一人では生きてゆけない。そのためには、月に一度でもいいから、人様に良いことをしよう。良いことをして汗を流した後の「ありがとう」という言葉は、心にさわやかな感動を覚える。「奉仕の理想」とは、他人のために思いやりをつくり、社会に対して思いやりの心で接することではないかと思う。その思いで仲間を増やしていこう。我々の目的をきちんと話して、一緒にやる仲間を増やしていってほしい。

最後に、田中作治RI会長エレクトの言葉を皆さんにお伝えする。「できない理由をいろいろ考えるよりも、できる方法を探していただきたい。そうすれば必ず道は開ける」。ロータリーには「"Yes"か"はい"しかない」のだから、皆さんは「できる方法」を考え、それぞれの方法で会員増強に取り組んでもらいたい。

### 《各クラブ発表》

**岡山南RC** 例会開始の1時間前には会員の方々が入会候補者の情報をもって集まっており、先輩方の良き遺伝子が引き継がれている。現在の会員数160名を更に拡大すべく現在取り組んでいる。

**米子東RC** 3年以内に会員を100人にする(チャレンジ100)という目標を立てて取り組むとともに、同好会もたくさん作り、クラブの活性化に努めている。また入会金と年会費も値下げした。

**美作RC** 例会で「増強アワー」を設け、会員を5グループに分けて、とにかく候補者名を出してもらい、その後会員の確保に努めて5名の増員となった。

**倉敷RC** 自クラブの出席率が今年97.2%を記録した。出席率が高いのは満足度が高いのだと思うし、満足度を高めることで会員も増加していくと思う。

**松江南RC** 退会防止には、レガッタ同好会、山登り同好会等をたくさん作り、親睦を深めて退会防止に取り組んでいる。

**井原RC** 退会防止を最優先と考え、入会間もない会員を委員長に就いてもらい、先輩がサポートする、等に取り組んでいる。

**岡山岡南RC** 2代前の会長が「チャレンジ40」を立ち上げて会長自ら旗を振り始めて、クラブの雰囲気が変わった。昨年は全会員が増強に取り組む雰囲気もできて、併せて出席率も上がり、今では例会を休むことが恥ずかしいという雰囲気になってきている。

**倉吉中央RC** ターゲットのホテルに例会場所を変更する等してホテル支配人を、中高生を対象にした事業『科学をする心教室』他を通じて懇意となった学校の教頭先生に入会してもらった。

**赤磐RC** 例会場がゴルフ場のクラブハウスでありゴルフ好きの会員が多い。最近は「釣り」同好会もでき、会員の親睦に重点を置いている。

**松江しんじ湖RC** 女性会員が多く(14%)今後も責任感の強い女性会員を増やしていきたい。

**備前RC** 震災を見ていて何かしなければとの思いで会員増強に取り組み、この2カ月で14名の会員を増やしたが、上半期は更に増強を、下半期は新入ロータリアンの人づくりを計画している。



## 特集 会員増強・ロータリー財団合同セミナー

# ロータリー財団セミナー「R財団の未来の夢計画とクラブの役割」

地区ロータリー財団委員長

鳥居 滋



ロータリー財団セミナーは、はじめに伊藤文利ガバナーから、「夢計画を実現するためには、原資が必要不可欠であり、3年先に使えるためのR財団への寄付を是非皆さんの力で集めてほしい」との挨拶があり、続いて「R財団の未来の夢計画とクラブの役割」と題して鳥居 滋地区R財団委員長のご講演でセミナーがスタートしました。

鳥居地区R財団委員長からは以下の内容について分かり易く説明していただきました。

- 新しい補助金モデルは、従来の「人道的」プロジェクト以外に、「教育的」「環境保全」プロジェクトについても対象となり、「未来の夢計画」以前に比べて申請件数は2倍近く増えているが、一件当たりの補助金額は変わっていない。
- 従来の単年度制から多年度制に変わり、計画年度と実施年度の2年に跨る取組みである。
- ロータリアンがプロジェクトに対してどのように関与したか、如何に汗を流したかが重要で、従来以上にもう一步踏み込んだ取組みが必要である。
- 実施にあたっては「覚書」による縛りがあり、地区に運用が任される一方、責任も伴ってくる。R財団からの監査の結果次第で払い戻し請求もあり得る。
- 実施結果の報告書類等は7年間の保管が求められている。
- 監査等の関係で海外でのプロジェクトが新地区補助金では行いにくくなったが、第2690地区は今年度から地区独自で地区世界社会奉仕委員会(DWCS)を発足させたので、海外のプロジェクトはそちらを活用していただきたい。

引き続き、新地区補助金小委員会の直前、現、次期委員長から、より具体的な説明がありました。

初めに三村直前委員長からは「前年度クラブ提唱33プロジェクトを実施し、約712万円を使い、プロジェクト中止等により約49万円をR財団に返却した。実施結果については地区の監査を受けて地区R財団運営委員会に報告した。R財団からは7/29にクローズした旨の連絡があり、その後今年度の補助金が振り込まれた。前年度実施プロジェクトでは、新聞報道35件、TV報道25件、その他10件と広報活動にも十分成果があった」との報告がありました。

続いて小林委員長からは「今年度は3年前の基金を基に89,398米ドルの補助金で38プロジェクトを実施する。現在ドル安で申請補助金を日本円に換算すると支給額は減額となるが、9月のロータリーレートは1ドル78円であり、それだけ寄付しやすくなっている。プロジェクト実施ともう一つの車輪である財団寄付にも協力をお願いしたい。

また、今年度のプロジェクト終了の報告期日は2月末であるが、その時期に報告書提出が集中するとチェックに時間がかかるので、プロジェクトが終了次第、速やかに「新地区補助金報告書」、「資金引出承認署名簿」、「補助金での購入品管理表」、「財務報告書」、「銀行月末残高確認表」の『5点セット』で事前にメールでの報告をお願いしたい。7/27と8/18に「2011-12年度報告書式」と「2011-12年度補助金送金完了」を『新地区補助金情報』としてメール配信させていただいているので、『未来の夢計画』ハンドブックと併せて読んでおいていただきたい」とのお願いがありました。

中村次期委員長からは、森田ガバナー年度の申請スケジュール(12/4:クラブ財団委員長研修会、3月末日:申請締切他)と、原資が不足した場合は今年度と同様にクラブの財団寄付額を基に調整させてもらう等の留意事項について説明がありました。

最後に質疑応答が行われ、熱のこもったセミナーは終了しました。





こころの中を見つめよう 情愛を広げるために

# 【地区だより(2011年8月)】

(敬称略)

## 7月新会員ご紹介



中村暢宏  
米子中央RC

## 8月新会員ご紹介



寺坂英雄  
智頭RC



石丸文男  
鳥取RC



久保真人  
鳥取RC



森前茂彦  
鳥取RC



岡田克夫  
鳥取北RC



安喰哲哉  
境港RC



前川晋吾  
米子南RC



塚本健太郎  
松江RC



浅野裕好  
松江東RC



杉島辰海  
松江南RC



徳田浩一  
松江南RC



久保田一郎  
松江しんじ湖RC



貴谷麻以  
松江しんじ湖RC



高橋 満  
松江しんじ湖RC



柿本礼二  
江津RC



水川創壊  
笠岡RC



見垣伸行  
倉敷RC



小林春男  
倉敷東RC



三宅俊弘  
倉敷東RC



實盛 理  
倉敷南RC



成田睦夫  
倉敷南RC



佐久間良介  
倉敷南RC



池田 均  
津山RC



山本隆之  
津山RC



黒原高正  
備前RC



木村幸隆  
備前RC



安良田幸路  
備前RC



水原晶代  
備前RC



赤堀且師  
備前RC



阪本文雄  
備前RC



田中浩之  
岡山RC



重藤隆文  
岡山RC



原 憲一  
岡山RC



西岡貞則  
岡山北西RC



清水富江  
岡山南RC

## ロータリー財団への寄付

### ベネファクター

### ポール・ハリス・フェロー



井上峰一  
倉敷RC



西村浩二  
岡山城RC



物部宏太郎  
松江東RC



小野雅彦  
倉敷南RC



柘野 肇  
倉敷南RC



藤井重信  
倉敷水島RC



松尾俊明  
津山中央RC



小笠原卓宏  
津山中央RC



浅原道尚  
岡山南RC



奥村二郎  
岡山城RC

## 米山記念奨学会への寄付

### 米山功労者メジャードナー

### 米山功労者



小野雅彦  
倉敷南RC



長家 靖  
岡山南RC



駒井重忠  
鳥取中央RC



河本正夫  
高梁RC



片岡康平  
高梁RC



川崎正志  
高梁RC



小坂 功  
高梁RC



竹本秀忠  
高梁RC



松尾俊明  
津山中央RC



謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈りします



松岡一行 名誉会員  
(鳥取西RC)

2011年8月29日ご逝去(享年92歳)  
1980年6月13日入会  
チャーターメンバー・1983-84年度 第4代会長  
M.P.H.F(2回)・ベネファクター・  
米山功労者(3回)



榎平秀一 会員  
(笠岡RC)

2011年8月21日ご逝去(享年62歳)  
1992年6月1日入会  
(株)マスヒラガス 代表取締役



小笠原卓宏  
津山中央RC



伊澤正信  
岡山南RC



黒瀬仁志  
岡山南RC



水内淳一  
岡山南RC



中島康博  
岡山南RC



大和豊子  
岡山南RC



宮原浩平  
玉野RC

# 【 地区だより(2011年8月) 】

(敬称略)

## ロータリー財団への寄付

### メモリアル・コントリビューションへの寄付

出雲RC 加藤博康が、亡き長男 加藤秀樹のために

出雲RC 今岡一朗が、亡き母 今岡和子のために

### ロータリー東日本震災復興基金への寄付

物部宏太郎(松江東RC)..... 1,000.00ドル

須谷生男(出雲南RC)..... 125.00ドル

### ポリオ・プラスへの寄付

奥村二郎(岡山城RC)..... 1,000.00ドル

### クラブ特別寄付(年次寄付)

鳥取北RC..... 270.00ドル

笠岡RC..... 353.81ドル(ミリオンダラーミール)

出雲中央RC..... 50.00ドル

笠岡東RC..... 420.00ドル(クラブ特別寄付)

出雲南RC..... 368.75ドル(ミリオンダラーミール)

125.00ドル(ゴルフ同好会より)

江津RC..... 1,000.00ドル

倉敷RC..... 3,850.00ドル

### 年次寄付にご寄付いただいた方々

倉敷南RC..... 青木隆明、古城寿彦、實盛 理、成田睦夫、佐久間良介

岡山岡南RC..... 荒嶋 望、藤野 優、秀岡康則、入江祥子、井上 元、三宅雅宣、中前貴子、中村有作、小倉俊彦、  
太田哲生、磯邊 崇、山中真悟

岡山西RC..... 文野 平

## 米山記念奨学会への寄付

### クラブ特別寄付

出雲南RC..... 29,500円(米山ランチ)

岡山中央RC..... 31,000円

笠岡東RC..... 10,000円(ゴルフ同好会より)

### クラブ普通寄付

倉吉RC..... 137,500円

平田RC..... 57,000円

津山RC..... 220,000円

倉吉東RC..... 220,000円

出雲中央RC..... 125,000円

赤磐RC..... 20,000円

鳥取北RC..... 162,000円

大社RC..... 105,000円

備前RC..... 122,500円

米子東RC..... 385,000円

高梁RC..... 220,000円

隠岐西郷RC..... 52,000円

倉敷東RC..... 100,000円

### 特別寄付をいただいた方々

出雲南RC..... 須谷生男

岡山岡南RC..... 藤野 優、井上 元、三宅雅宣、中前貴子、小倉俊彦、太田哲生、山中真悟

表紙・長谷寺絵馬 熊谷直実と平 敦盛 寛文9(1669)年、縦123.2 cm 横145.0cm

1184年一の谷合戦で平敦盛を撃った熊谷直実。平家一門の儂い栄華を象徴する場面です。直実は、沖へ逃れる敦盛に勝負を挑みましたが、我が子と同年ほどの若武者であることに躊躇います。

源氏は白で、平氏は赤、背中に背負った母衣の色です。母衣は竹製の大きな籠を布で包んだ武具で、後から飛んでくる弓矢を防ぎま

した。この優美な武者姿を蘭の花に見立て、やさしい紫紅花を「敦盛草」、力強い白花を「熊谷草」の名があります。

1192年直実は無常を感じて出家し、法然の門下に入り蓮生と称しました。武者絵でありながら宗教画の側面も備えています。

# 出席報告 (2011年8月)

クラブ名	Make-up後 出席率(%)	ホームクラブ 出席率(%)	例会数	会 員 数				クラブ名	Make-up後 出席率(%)	ホームクラブ 出席率(%)	例会数	会 員 数					
				7月1日	8月末	内女性 会 員	増減					7月1日	8月末	内女性 会 員	増減		
第1グループ	智 頭	86.54	78.85	4	11	13	1	2	児 島	82.46	67.54	4	28	29	0	1	
	倉 吉	87.28	80.26	4	55	57	3	2	児 島 東	94.57	88.04	4	23	23	0	0	
	倉吉中央	76.09	58.70	4	23	23	1	0	倉 敷	99.09	83.18	3	77	77	0	0	
	倉吉東	93.94	74.24	3	44	43	2	-1	倉敷中央	90.28	84.72	4	18	18	3	0	
	鳥 取	100.00	82.50	3	53	56	2	3	倉敷東	92.68	84.05	4	40	43	3	3	
	鳥取中央	82.53	78.31	4	41	42	0	1	倉敷南	96.19	69.85	3	66	71	5	5	
	鳥取北	82.23	74.62	4	54	55	6	1	倉敷水島	80.58	72.82	4	31	31	0	0	
	鳥取西	91.98	83.95	3	53	54	0	1	倉敷瀬戸内	90.79	74.47	4	37	38	2	1	
計(8)	87.57	76.43		334	343	15	9	計(8)	90.83	78.08		320	330	13	10		
第2グループ	境 港	76.47	67.06	4	42	43	0	1	第8グループ	真 庭	93.23	81.95	4	34	34	0	0
	米 子	85.63	62.64	3	62	62	2	0		美 作	90.08	90.08	4	35	35	1	0
	米子中央	84.85	80.81	3	33	34	1	1		津 山	76.72	62.98	3	88	90	3	2
	米子東	85.21	69.26	4	77	78	5	1		津山中央	81.00	76.00	4	26	26	2	0
	米子南	93.33	78.33	4	46	47	1	1		津山西	89.92	86.05	4	34	34	4	0
	計(5)	85.10	71.62		260	264	9	4		計(5)	86.19	79.41		217	219	10	2
第3グループ	松 江	89.85	72.93	4	68	69	0	1	第9グループ	赤 磐	81.16	73.91	4	20	20	0	0
	松江東	92.64	82.68	4	57	59	0	2		備 前	85.03	78.87	3	43	49	4	6
	松江南	91.12	82.24	4	68	68	4	0		岡 山	88.69	73.12	4	105	113	0	8
	松江しんじ湖	97.73	76.43	4	63	66	9	3		岡山東	87.55	80.08	3	85	85	0	0
	隠岐西郷	80.20	69.31	4	26	27	0	1		岡山北西	90.10	79.17	4	49	50	4	1
	計(5)	90.31	76.72		282	289	13	7		岡山後楽園	90.20	82.35	3	51	51	0	0
第4グループ	平 田	87.27	80.00	5	38	38	1	0	第10グループ	計(6)	87.12	77.92		353	368	8	15
	出 雲	78.19	75.00	4	48	46	1	-2		岡山旭川	82.00	75.00	4	25	25	1	0
	出雲中央	80.20	74.11	4	50	50	3	0		岡山中央	85.35	76.47	4	45	45	5	0
	出雲南	99.15	81.36	4	59	59	6	0		岡山北	79.89	59.24	4	45	46	0	1
	大 社	75.00	63.97	4	42	42	0	0		岡山南	83.56	74.45	4	151	158	13	7
	計(5)	83.96	74.89		237	235	11	-2		玉 野	84.38	76.56	4	32	32	0	0
第5グループ	江 津	78.30	76.42	4	26	27	0	1	第11グループ	牛 窓	89.29	85.71	4	7	7	0	0
	浜 田	87.14	72.73	4	52	55	1	3		計(6)	84.08	74.57		305	313	19	8
	益 田	94.79	75.00	4	24	24	2	0		岡山備南	78.74	76.38	4	35	35	4	0
	益田西	90.97	72.73	5	30	31	1	1		岡 山 城	96.26	89.72	4	27	27	4	0
	大 田	87.67	83.10	3	26	26	3	0		岡山岡南	90.76	77.78	4	30	30	3	0
	計(5)	87.77	76.00		158	163	7	5		岡山丸の内	78.23	70.16	4	32	32	3	0
第6グループ	井 原	77.91	68.60	4	46	46	2	0	地区 クラブ 内の 状況	岡山西	87.37	74.11	4	73	74	5	1
	笠 岡	93.38	87.50	3	50	51	0	1		岡山西南	87.03	75.68	3	64	66	3	2
	笠岡東	93.65	87.30	3	42	42	1	0		計(6)	86.40	77.31		261	264	22	3
	新 見	87.50	83.33	3	16	16	1	0		クラブ数	67RC						
	総 社	79.61	74.76	3	37	38	7	1		7月1日現在会員数	3,027名						
	総社吉備路	96.55	92.40	5	35	35	3	0		8月末日会員数	3,090名						
	高 梁	87.36	79.31	4	44	44	3	0		内 女性会員数	145名						
	玉 島	93.91	86.96	4	30	30	1	0		純 増	63名						
計(8)	88.73	82.52		300	302	18	2	8月出席率	Make-up後	87.30%							
									ホームクラブ	77.14%							

国際ロータリー第2690地区  
2011-2012年度  
地区スローガン



国際ロータリー第2690地区 2011-2012年度 ガバナー  
**伊藤 文利**

〒682-0887 鳥取県倉吉市明治町 1037-11 倉吉商工会議所 3 階  
TEL 0858-24-2690 FAX 0858-24-2691  
E-mail : ito2690@shirt.ocn.ne.jp